



アメリカの 教育制度



- ✓ 世界ランキングの高い大学が多数。
- ✓ イギリスと比べて、入学時に必要とされる英語力や学費のハードルが高い。
- ✓ 1年目は日本と同様の一般教養からスタート。

教育制度 比較

年齢	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
日本	中学			高校			大学			
アメリカ	Middle School		high School				College	University		
日本→ アメリカ	中学		高校				College	University		
							International Year One	University		

大学の概要

世界トップクラスの研究設備があり、高水準の教育が受けられる大学の数が多い。コミュニティカレッジ、リベラルアーツカレッジ、総合大学、専門単科大学という、4つの形態がある。学部課程は1-2年が一般教養、3-4年次が専門課程、と日本と変わらないが、1年次から卒業の専攻を決めておく必要がなく、在学中に転部や副専攻の追加など自由度が高い。入学試験はなく、ほぼすべての大学は書類選考とそれまでの学業成績で判断される。ただし、入学後成績を維持するための課題や予習復習の勉強量が多く、入学が簡単で卒業が大変と言われる所以になっている。全米の大学学部課程の単位は、単位認定団体が統一された厳格な基準の元、教育水準の管理を行っている。そのため、編入制度が充実し、大学名よりも学業成績や学習歴が重視される。

試験内容

入試はなくすべて書類審査

<入学に必要な主な書類等>

- ・願書 (application form)
- ・成績証明書 (transcripts)
- ・卒業証明書 (evidence of diplomas / degrees)
- ・推薦状 (letters of recommendation / reference)
- ・エッセイ (statement of purpose / essay)
- ・申請料 (application fee)
- ・英語力試験結果証明書 (test score report)
- ・財政能力証明書 (statement of financial support)
- ・健康診断書 (health examination certificate)
- ・その他 (ポートフォリオ、CV など)

入学時期

8月・1月 (州によっては、6月・3月もあり)

英語力基準

▼2年制大学
TOEFL iBT45

▼4年制大学
TOEFL iBT61

合格のポイント

エッセイ、英語力、推薦状、日本の高校での成績、など総合的な評価で合否が判断される。

1年間の留学費用相場

80万円～600万円

1年間の滞在費用相場

70万円～140万円

※一般的な情報です。州や大学によって異なりますので、詳細は大学毎にご確認ください。